

会社説明会

77 BANK

平成19年6月4日

七十七銀行

1. 平成18年度決算

- 損益概況…………… 1
- 主要勘定・利回・利鞘…………… 2
- 与信費用および
金融再生法開示債権の状況…………… 3

2. 中期経営計画の進捗状況…………… 4

3. 主要経営施策

- 営業力の強化…………… 6
- 有価証券運用の強化…………… 14
- 経営効率の改善…………… 16
- 健全性の維持…………… 17

4. 平成19年度業績予想

- 損益…………… 18
- 主要勘定・利回・利鞘…………… 19

付属資料のご案内

- 平成18年度決算説明資料
- 平成19年3月期 決算短信
- 付表
 - 資産自己査定状況
 - 債務者区分の遷移状況
 - 金融再生法開示債権の保全状況
 - 宮城県内の企業倒産状況
 - オフバランス化の状況
 - 有価証券の状況
- 77BANK調査月報(2007年5月号)
- 最近の地価動向について
- 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況
- 七十七の地域貢献

損益概況

(単位：億円、%)

	17年度	18年度	前年度比	
			増減額	増減率
業務粗利益	836	863	27	3.2
資金利益	752	779	27	3.6
役務取引等利益	108	114	6	5.7
国債等債券損益	▲ 3	▲ 10	▲ 7	
外国為替売買損益	▲ 23	▲ 24	▲ 1	
経費	573	578	5	0.9
一般貸倒引当金繰入前業務純益	263	285	22	8.2
[コア業務純益]	[266]	[295]	[29]	[11.0]
一般貸倒引当金繰入額	▲ 22	23	45	
業務純益	285	262	▲ 23	▲ 8.0
臨時損益	▲ 125	▲ 80	45	
株式等関係損益	1	15	14	
不良債権処理損失	130	102	▲ 28	
経常利益	160	182	22	13.4
特別利益	6	1	▲ 5	
特別損失	10	14	4	
法人税、住民税等 (調整額含む)	64	67	3	
当期純利益	92	102	10	10.0
与信費用	108	125	17	

業務粗利益
増加に転換

資金利益
市場金利の上昇等により、
貸出金利息や有価証券利息
が増加

コア業務純益
資金利益の増加により増益

当期純利益
2年連続増収増益
100億円台を回復

オフバランス化の加速等により増加

主要勘定・利回・利鞘

■ 主要勘定（平残）

(単位：億円、%)

	17年度	18年度	前年度比 増減率
貸 出 金	30,760	30,441	▲ 1.0
コア貸出金	30,052	30,366	1.0
事業性貸出	18,721	18,312	▲ 2.2
(うち除くスプレッド貸)	(13,490)	(12,721)	(▲ 5.7)
(うちスプレッド貸)	(5,231)	(5,591)	(6.9)
消費者ローン	6,691	6,891	3.0
(住宅ローン)	(5,986)	(6,198)	(3.5)
地公体等向け	4,640	5,163	11.3
その他貸出金(注)	708	75	▲ 89.4
有 価 証 券	18,808	19,441	3.4
国 債	9,878	10,801	9.3
地 方 債	1,548	1,281	▲ 17.2
社 債	4,467	4,108	▲ 8.0
株 式	672	669	▲ 0.4
そ の 他	2,243	2,582	15.1
預金＋譲渡性預金	49,138	48,972	▲ 0.3
個 人 預 金	33,587	33,541	▲ 0.1
法 人 預 金	11,697	11,814	1.0

(注) その他貸出金は、預金保険機構・財務省等向け貸出金およびローン・クレジット

参考

預り資産(末残)	3,668	5,104	39.1
----------	-------	-------	------

(注) 預り資産は、投資信託、公共債、個人年金保険等、外貨預金の合計

■ 利回・利鞘

(単位：%)

	17年度	18年度	前年度比 増減
貸 出 金 利 回	1.74	1.86	0.12
コア貸出金利回	1.78	1.87	0.09
事業性貸出	1.60	1.72	0.12
(うち除くスプレッド貸)	(2.05)	(2.15)	(0.10)
(うちスプレッド貸)	(0.45)	(0.74)	(0.29)
消費者ローン	2.42	2.52	0.10
(住宅ローン)	(2.08)	(2.17)	(0.09)
地公体等向け	1.59	1.50	▲ 0.09
有 価 証 券 利 回	1.31	1.51	0.20
預 金 等 利 回	0.02	0.10	0.08
資 金 ス プ レ ッ ド	1.47	1.50	0.03
総 資 金 利 鞘	0.31	0.33	0.02

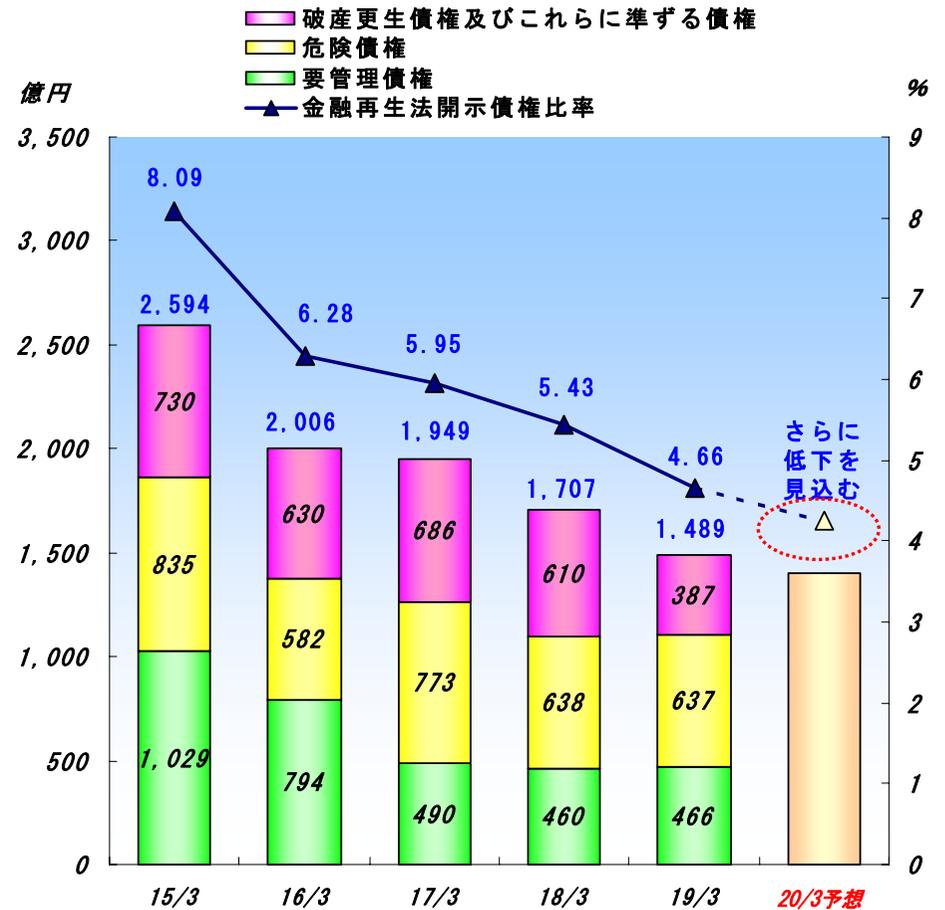
与信費用および金融再生法開示債権の状況

■ 与信費用の推移

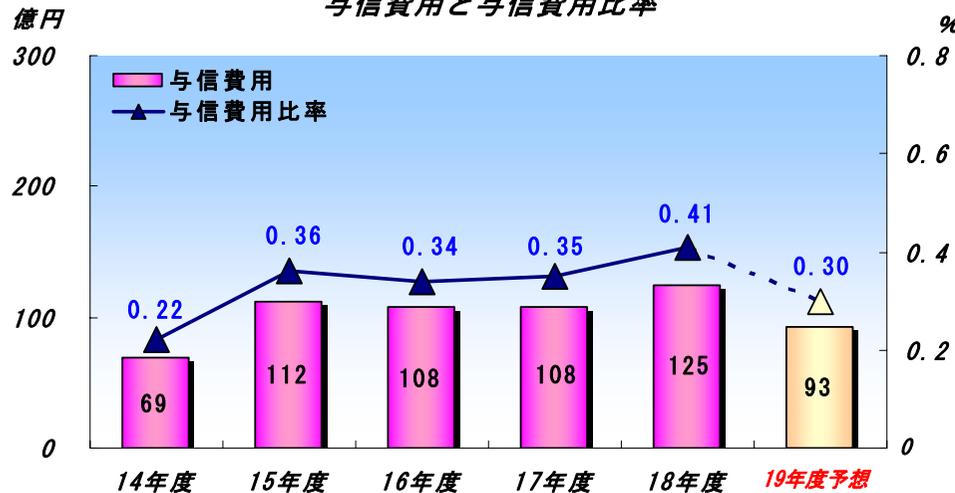
(単位：億円)

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 予想
一般貸倒引当金 繰入額	▲ 9	▲ 60	▲ 65	▲ 22	23	18
不良債権 処理損失	78	172	173	130	102	75
(うち債権 売却損)	(28)	(63)	(11)	(29)	(41)	(N/A)
合計	69	112	108	108	125	93

金融再生法開示債権の推移



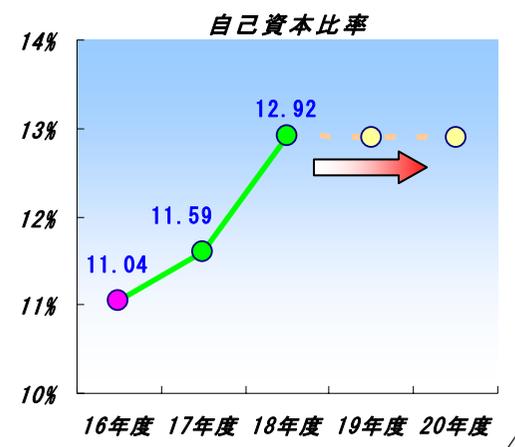
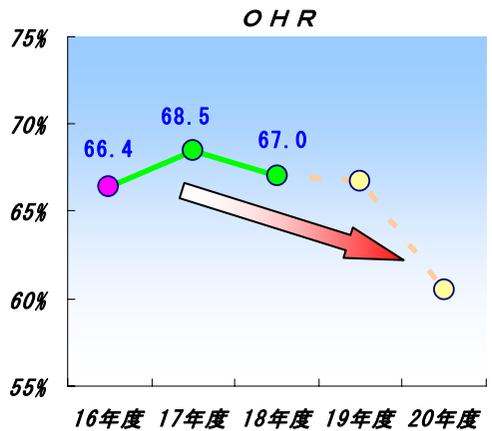
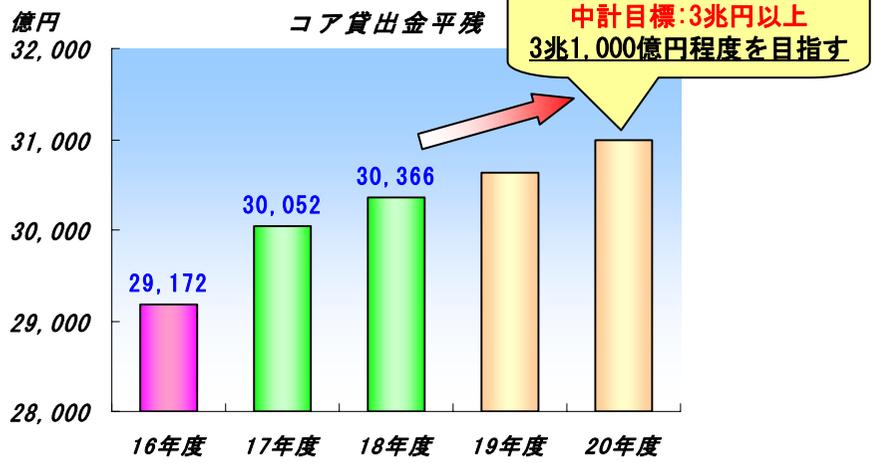
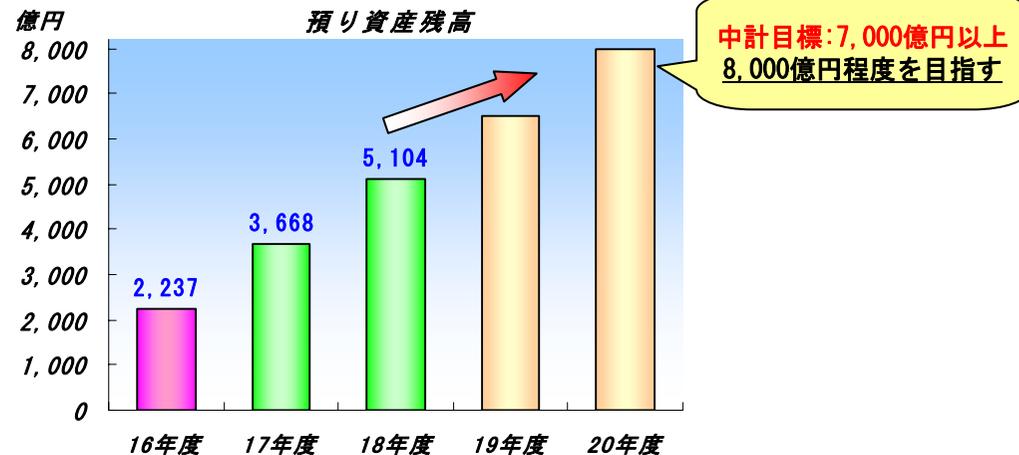
与信費用と与信費用比率



中期経営計画の進捗状況 ①

基本目標	コア業務純益	380億円以上
	コア貸出金平残	3兆円以上
	預り資産残高	7,000億円以上
	O H R	60%以下
	自己資本比率	12%以上

計画期間：4年間
(平成17年4月～平成21年3月)



中期経営計画の進捗状況 ②

計画期間：4年間（平成17年4月～平成21年3月）

（単位：億円、％）

	16年度	17年度	計画対比	18年度	計画対比	20年度目標
業務粗利益	838	836	15	863	23	925
資金利益	741	752	21	779	19	835
役務取引等利益	104	108	0	114	2	125
経費	556	573	▲ 5	578	0	552
コア業務純益	284	266	26	295	25	380
OHR	66.4	68.5		67.0		59.6
自己資本比率(国内基準)	11.0	11.6		12.9		12.0
コア貸出金	29,172	30,052		30,441		30,310
預り資産残高(末残)	2,237	3,668		5,104		7,000

※参考：金利水準予想

（単位：％）

	17年3月末	18年3月末	19年3月末	20年度予想
無担保コールO/N	0.022	0.002	0.715	0.500
日本円TIBOR(3ヵ月)	0.084	0.128	0.663	0.700
新発10年国債流通利回り	1.320	1.770	1.650	2.750
当行短期プライムレート	1.875	1.875	2.375	1.875
ROE(コア業純ベース)	8.65	7.69	8.06	10.60

営業力の強化

■ 東北地区における営業力の強化

「宮城県のビジネス情報」、
「仙台マーケットで培ったノウハウ」の提供

経済・社会の広域化等により、「仙台圏一極集中」の動き
→ 東北各地区における「宮城」に関連する情報ニーズの高まり
・ 取引先紹介運動(情報提供)により貸出を推進

法人営業部
山形駐在：2名 (18/11～)
19/3末貸出金実績：232億円
4ヵ月間実績：8億円
19年度見込案件：20億円
(貸出金年間増加率予想 +8%)

法人営業部
青森法人営業所：3名 (18/11～)
4ヵ月間実績：8億円
19年度見込案件：20億円

法人営業部
盛岡駐在：2名 (18/11～)
19/3末貸出金実績：185億円
4ヵ月間実績：3億円
19年度見込案件：30億円
(貸出金年間増加率予想 +16%)

法人営業部
郡山駐在：2名 (18/11～)
19/3末貸出金実績：220億円
4ヵ月間実績：3億円
19年度見込案件：30億円
(貸出金年間増加率予想 +13%)



(単位：億円)

	県内貸出金残高	当行残高	当行シェア
宮城	56,745	24,273	42.7%
岩手	27,285	185	0.6%
秋田	23,088	109	0.5%
山形	29,237	232	0.8%
福島	44,868	880	2.0%

シェア
引上げ
余地あり

※金融ジャーナル社資料より。農漁協含、県内貸出金残高は18/3月期

営業力の強化

■ 県内営業力の強化①

店舗施策の成果

◆ 新たなスタイルの店舗「エアリ相談プラザ」の着実な成果

東日本最大級のショッピングセンター内にコンサルティング専門店舗を出店
→ アンテナ店舗として、僚店との相乗効果をフルに発揮

○平成19年2月開店後3ヶ月間の実績

- ・ 個人定期性預金17億円を達成
(1日当り18百万円増加のペース)
- ・ 預り資産は1億円を突破
- ・ 消費者ローン、住宅ローンも予想を上回る推移
- ・ 店舗内で資産運用セミナーを毎週開催



人材の集中配置の成果

◆ マネーアドバイザー(MA)の集中配置の成果

仙台市北部の住宅街(泉地区)への人材配置

○平成18年11月MAの集中配置以降の実績

- ・ 一人あたり月平均預り資産販売額：65百万円
- ・ MAの個人預金・預り資産年間増加率：年率約20%
(全店比約2倍のペースで推移)



営業力の強化

■ 県内営業力の強化②

仙台優良マーケットにおける営業強化
 地価上昇・人口流入・不動産市況の活況(地元経済活性化)
 団塊世代退職金マーケット(推定9,500億円)
 住宅ローンマーケット(推定1,700億円+肩代わり) etc.

強みを活かす

預金シェア 52.7% (10年間で+2.8%)
 貸出金シェア 42.7% (10年間で+7.0%)
 <参考> 東北地銀の県内シェア
 預金シェア 3.4% (10年間で+0.0%)
 貸出金シェア 6.6% (10年間で+2.0%)

■ 法人営業

- ・支店長・役員連携による
トップセールスの強化
 → 全法人融資先訪問の実施
 = フェース・トゥ・フェース
 の関係強化
- ・渉外支援・顧客管理システムによる
 情報営業の強化
- ・ローンサポートチームの地域別配置

新情報系システムの稼働

- ・渉外支援・顧客管理システム
- ・データベースマーケティングシステム

人材の強化・効率的な人員配置

- ・退職行員の再雇用、中途採用による人員増強
- ・営業店の特性にあわせ、エキスパートを配置

■ 個人営業

- ・個人取引特化店の出店、
ローンセンターの設置を強化
- ・マネーアドバイザーの地域別配置の継続
- ・顧客セグメント別クロスセルの強化
 → 未開拓マーケットの掘り起こし
- ・ゆうちょ銀行、他行取引の奪還
- ・団塊の世代県内9,500億円の退職金
 マーケットの開拓

エリア営業

仙台市内を中心に営業体制を再構築

店舗戦略

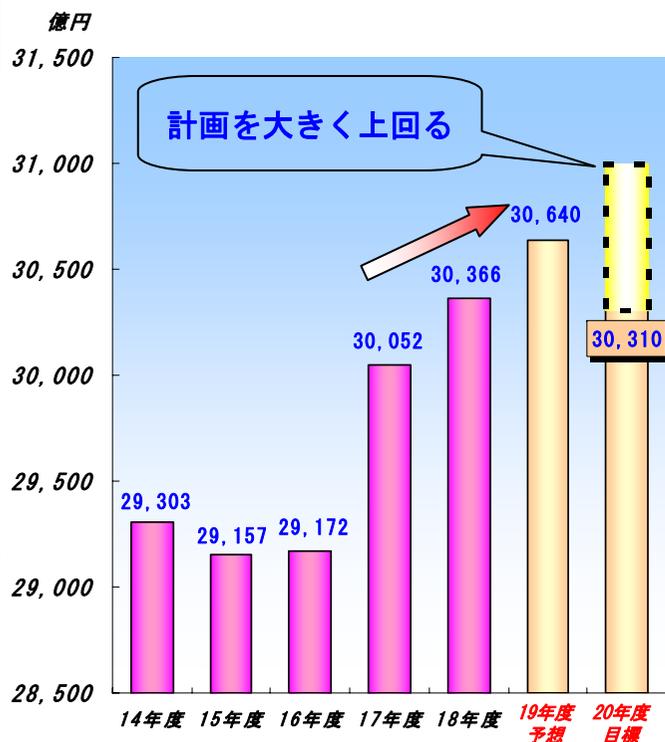
営業力の強化

■ コア貸出金増強への注力 ①

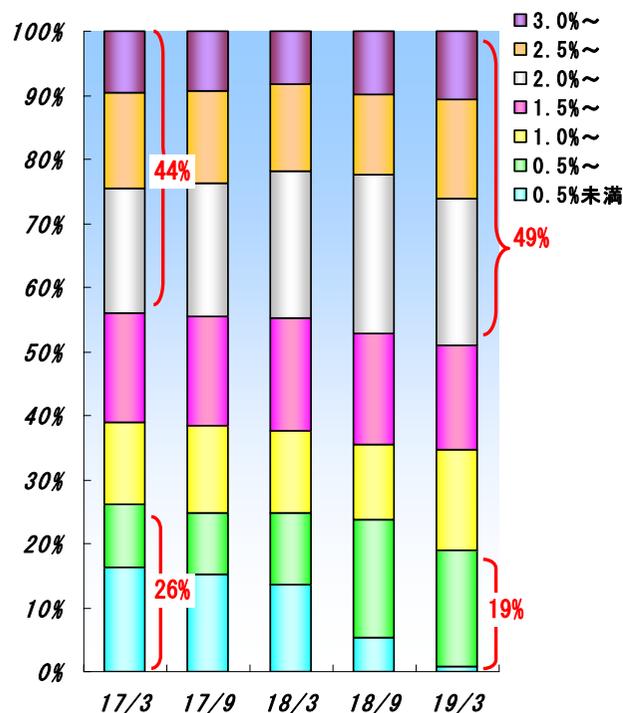
■ コア貸出金は順調に推移。良質な貸出金の積み上げにより資金利益底上げへ

- ◆ 低利の貸出金の割合が低下、貸出ポートフォリオの収益性が改善
- ◆ 県内貸出金シェアは引き続き高水準を維持

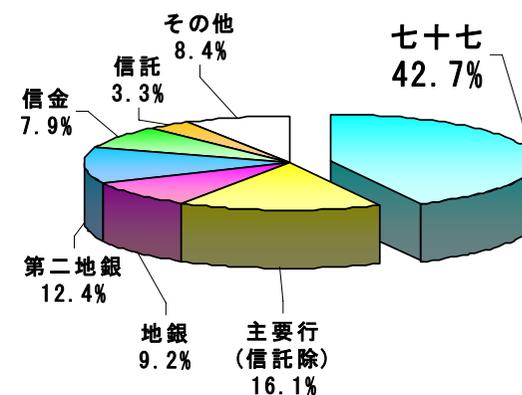
コア貸出金残高（平残）の推移



貸出金の金利階層別割合



宮城県内貸出金シェア (平成19年3月末)



出所:宮城県銀行協会ほか

営業力の強化

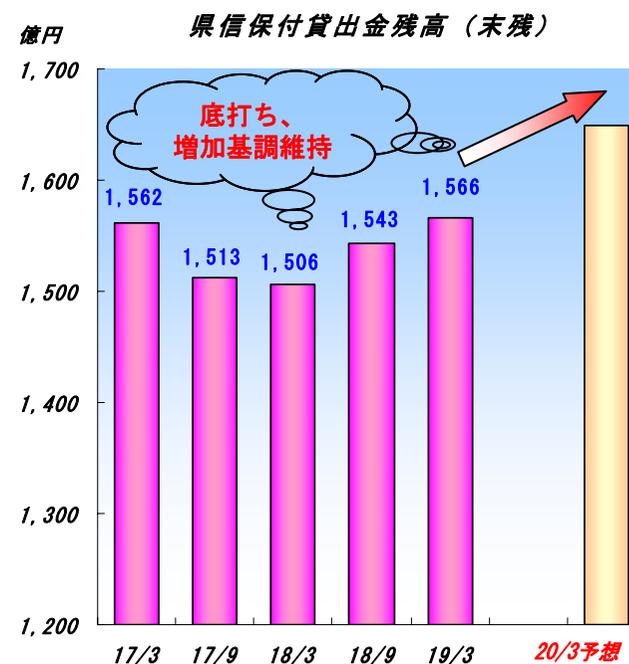
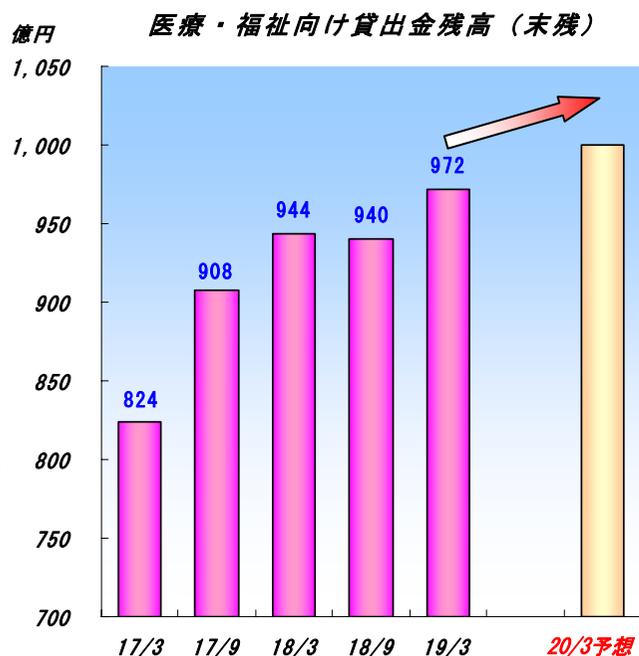
■ コア貸出金増強への注力 ② ~事業性貸出金の増強~

■ 地元中堅・中小企業向け貸出の推進

- ◆ 新規案件の積極的な発掘と迅速な審査対応
 - ・ 成長業種向け案件への対応強化
 - 医療・福祉分野向け新商品の活用
 - ・ アパートローンの強化
 - ・ 県信保付貸出の活用

■ ローンサポートチームとビジネスサポートチームの活用による案件発掘

- ◆ プロジェクトファイナンス等高度な案件の組成
- ◆ シンジケートローン、大型設備案件の発掘
- ◆ 東北地区県外エリアの優良取引先の開拓



営業力の強化

■ コア貸出金増強への注力 ③ ～消費者ローンの増強～

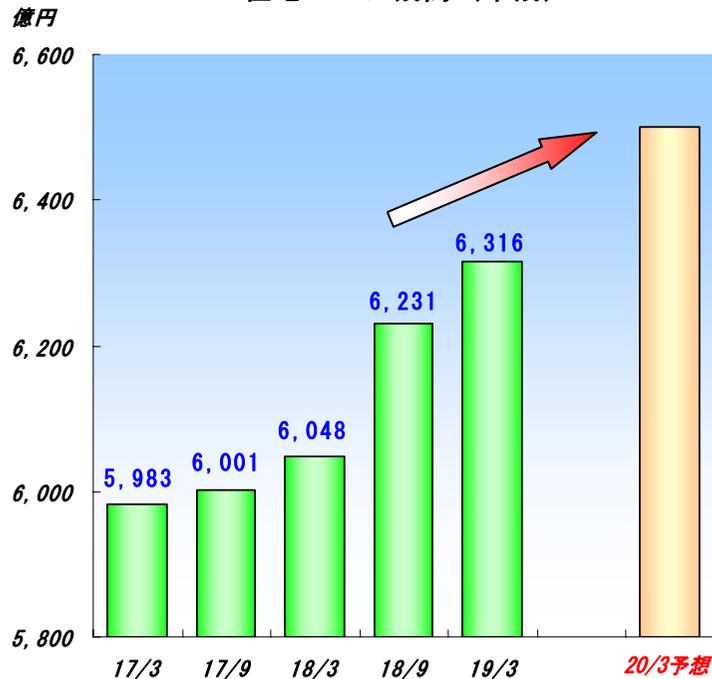
■ 住宅ローンの推進

- ◆ 本部渉外要員による業者囲い込みとローンセンターの活用
- ◆ 外部保証を活用した顧客層の拡大
- ◆ 住宅ローン審査受付チャネルの拡大

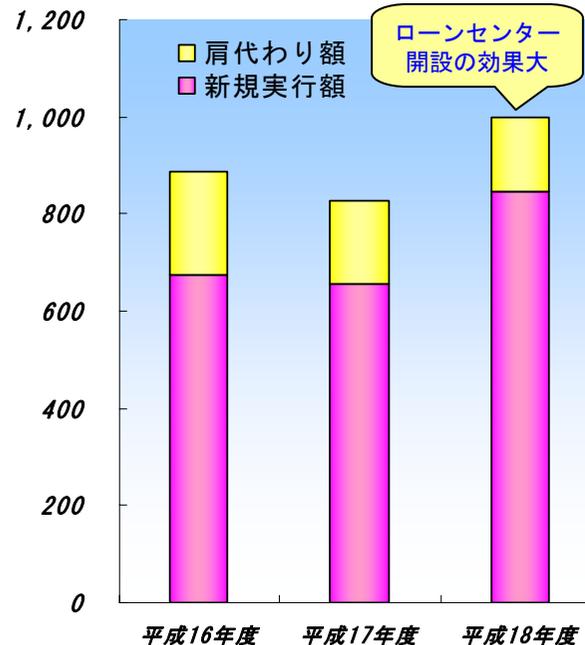
■ 無担保消費者ローンの推進

- ◆ フリーローンを中心に好調を維持
- ◆ データベースマーケティングの活用による潜在的ニーズの掘り起こし
- ◆ 顧客属性に応じた商品内容の拡充（6月）

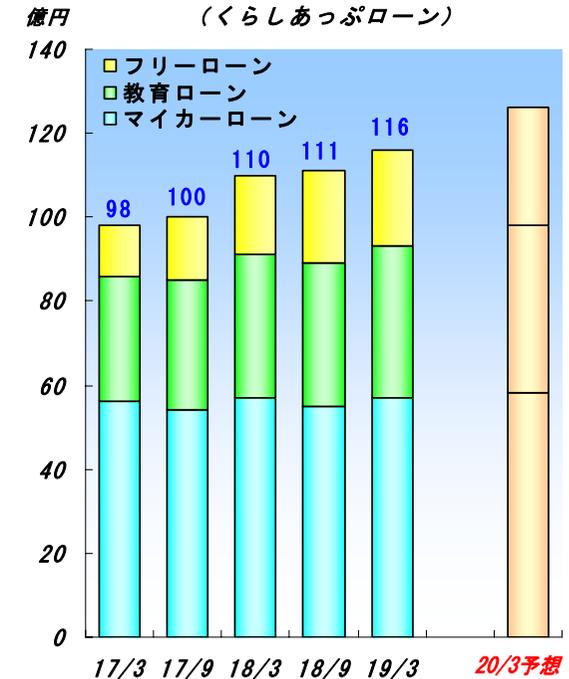
住宅ローン残高（末残）



住宅ローン実行額



無担保消費者ローン残高（末残）
（くらしあっぷローン）



営業力の強化

■ 預り資産の推進

■ 顧客層の拡大

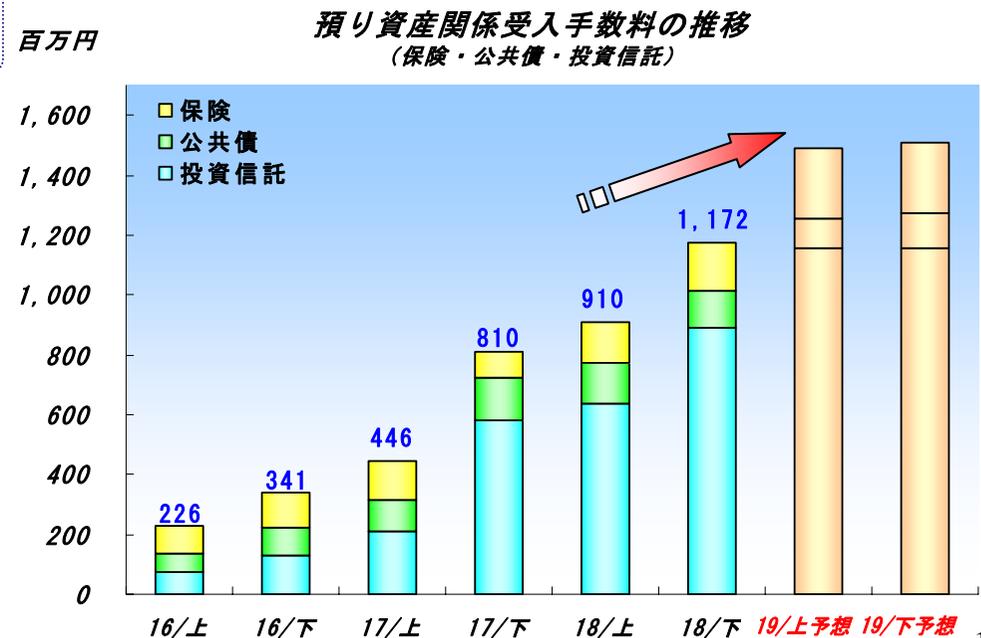
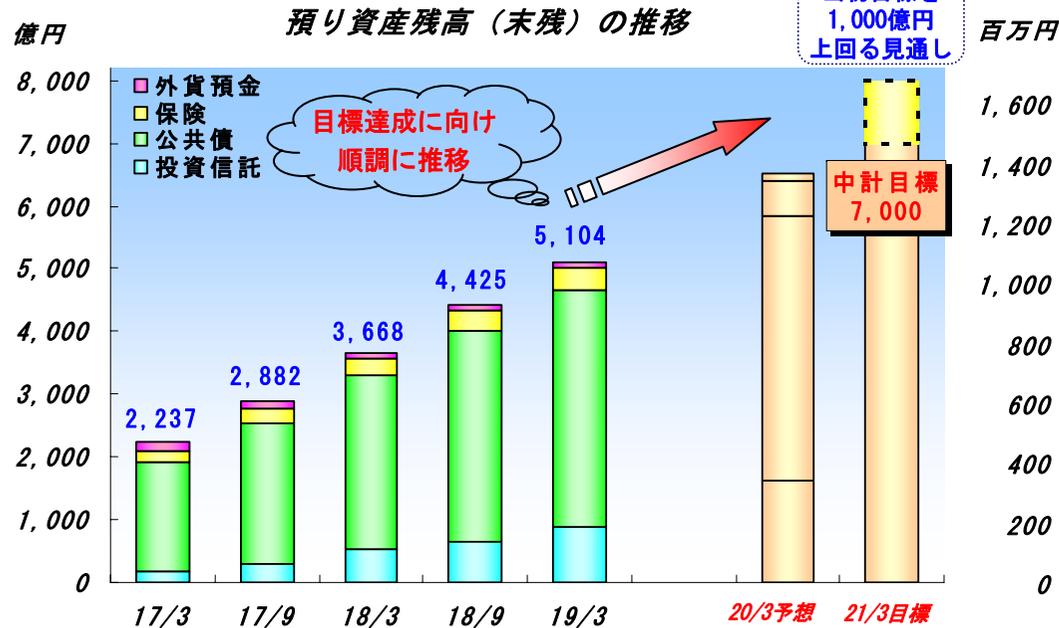
- ◆ 相談プラザのコンサルティング機能の発揮
- ◆ セミナー等の活用
 - ・ 運用者と連携した投信セミナーや投信運用報告会の開催、休日資産運用相談会の継続
- ◆ 各種キャンペーンの活用
- ◆ インターネットバンキングによる投信販売開始

■ マネーアドバイザー（MA）の活用

- ◆ 地域別駐在の配置（9月）
- ◆ 営業店研修、資産運用セミナーの継続

■ 商品ラインアップの充実

- ◆ 投資信託商品等預り資産新商品の追加
- ◆ 保険窓口販売全面解禁への対応（12月）



営業力の強化

■ 法人総合取引推進の強化

■ 本部渉外（ローンサポートチーム、ビジネスサポートチーム）による 法人総合取引推進強化

- ◆ 産学連携による取引先の開拓・支援
 - ・ 東北大学との連携
- ◆ 提案型営業支援によるビジネスチャンスの創出
 - ・ ビジネスマッチング（営業斡旋情報）
みやぎビジネス商談会
地銀10行による合同商談会（上海）
地銀上位行と連携した食の商談会
 - ・ M&A 仲介業務
 - ・ 株式公開支援（証券代行業務・市場誘導業務）
 - ・ 401k 型総合プラン
 - ・ 天候・地震デリバティブ
- ◆ 質の高い情報提供による案件発掘
 - ・ 株式公開支援セミナー
 - ・ 中国セミナー
上海駐在員事務所の情報活用
県外東北地区での開催

ローンサポートチームの実績

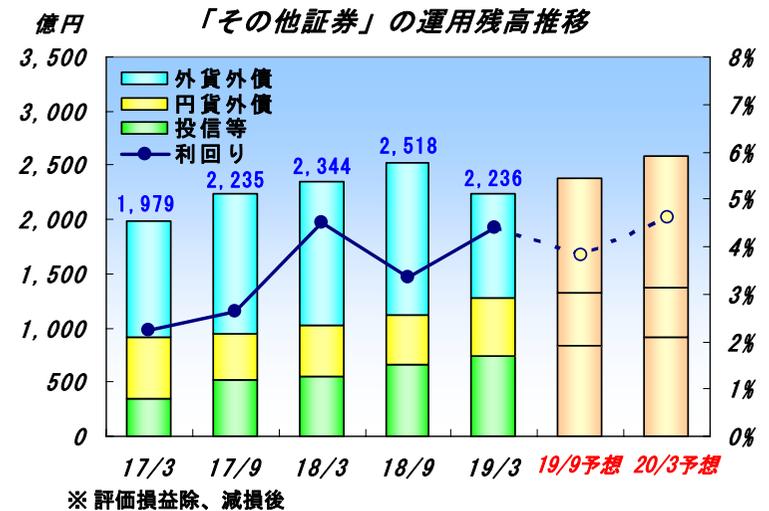
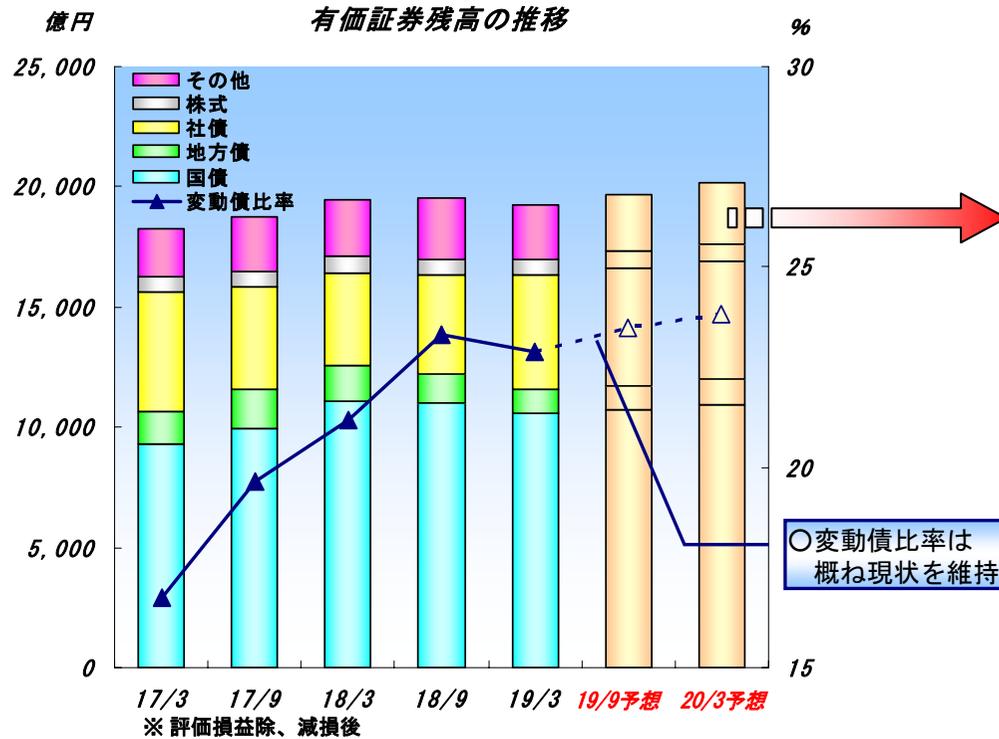
	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 予想
成長分野向け貸出 (医療・福祉分野向け案件)	47億円	97億円	約120億円
大型設備案件	60億円	116億円	約120億円
シンジケートローン (アレンジャー受託組成額)	89億円	117億円	約120億円
私募債	33億円	30億円	約40億円

ビジネスサポートチームの実績

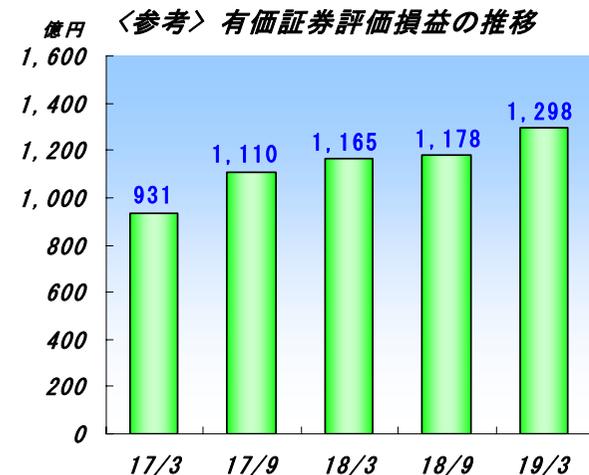
	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度 予想
ビジネスマッチング (営業斡旋)	96件	155件	} 250件
M&A	6件	4件	
株式公開支援	4件	7件	
401k 総合プラン	11件	3件	
天候・地震デリバティブ	24件	38件	
合計	141件	204件	

有価証券運用の強化

■ 有価証券ポートフォリオの状況

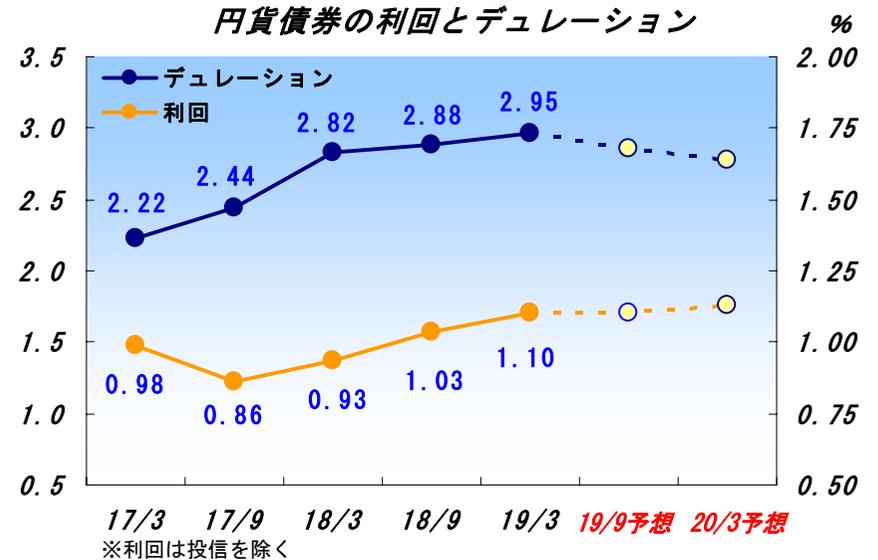
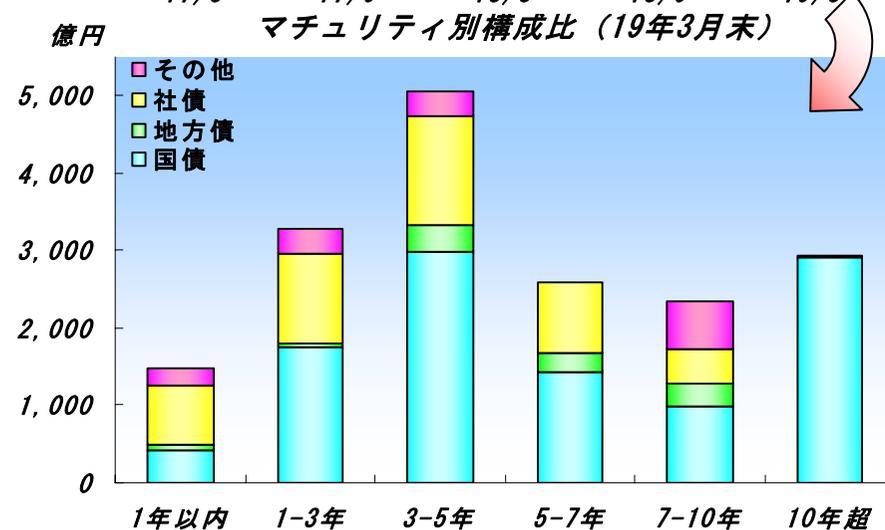
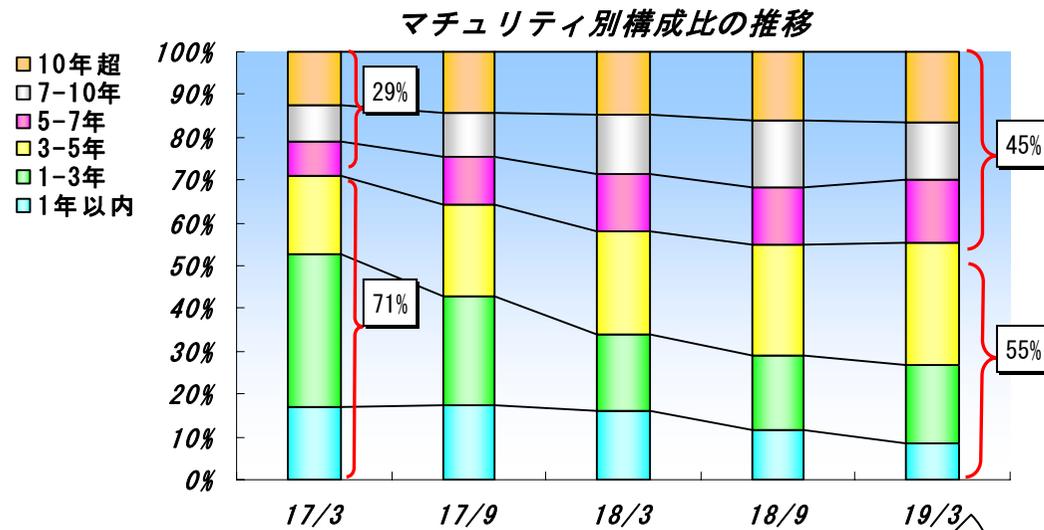


- 利回り向上に向けた取組み
- ◆ その他証券の運用強化
 - 投資信託等の増強
- ◆ 中・長期債への投資継続 (※次ページ参照)
 - 収益性の向上と償還バランスの平準化
- リスク分析、相関を勘案した資産配分



有価証券運用の強化

■ 運用力の強化



■ 運用力の強化

◆ 運用の多様化促進

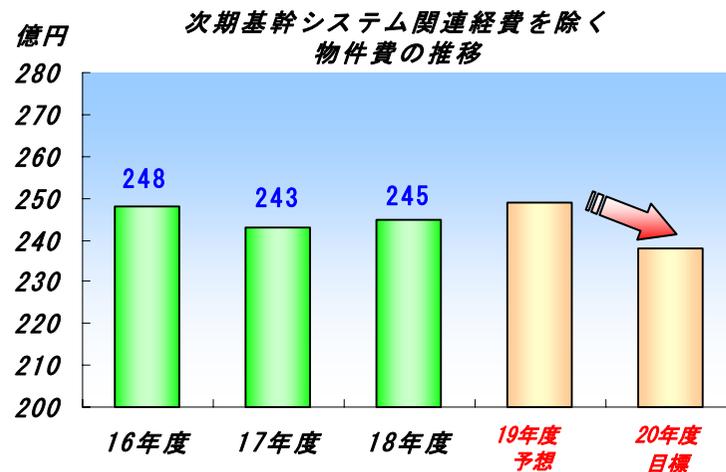
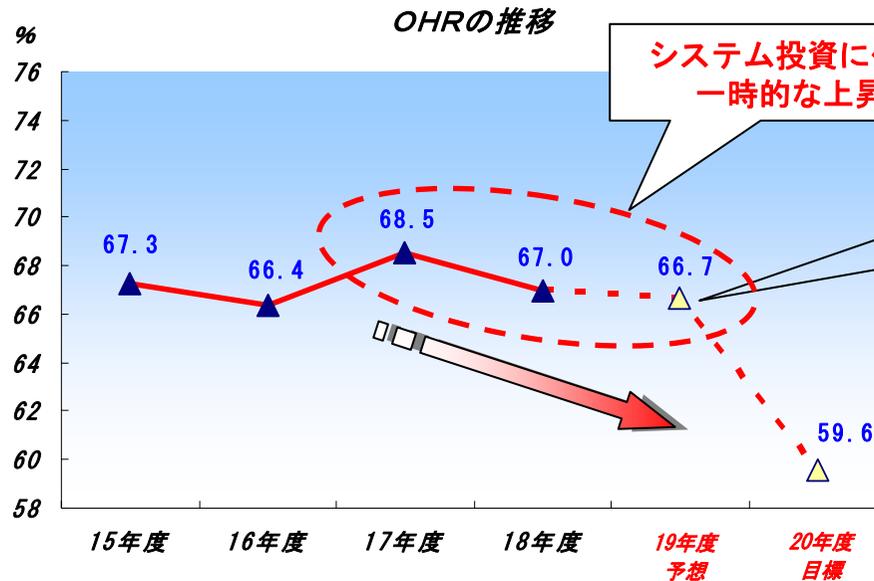
- リスク分散および収益機会の拡大

◆ 人材の育成

- 運用の更なる多様化、高度化を図るための人材の強化
 - ・ 外部運用機関への人材の派遣
 - ・ 海外トレーニー派遣

経営効率の改善

OHRの改善



■ 業務プロセスの改善

◆ アウトソーシングの推進

- 営業店業務のアウトソーシング拡大

■ 統合収益管理制度の導入

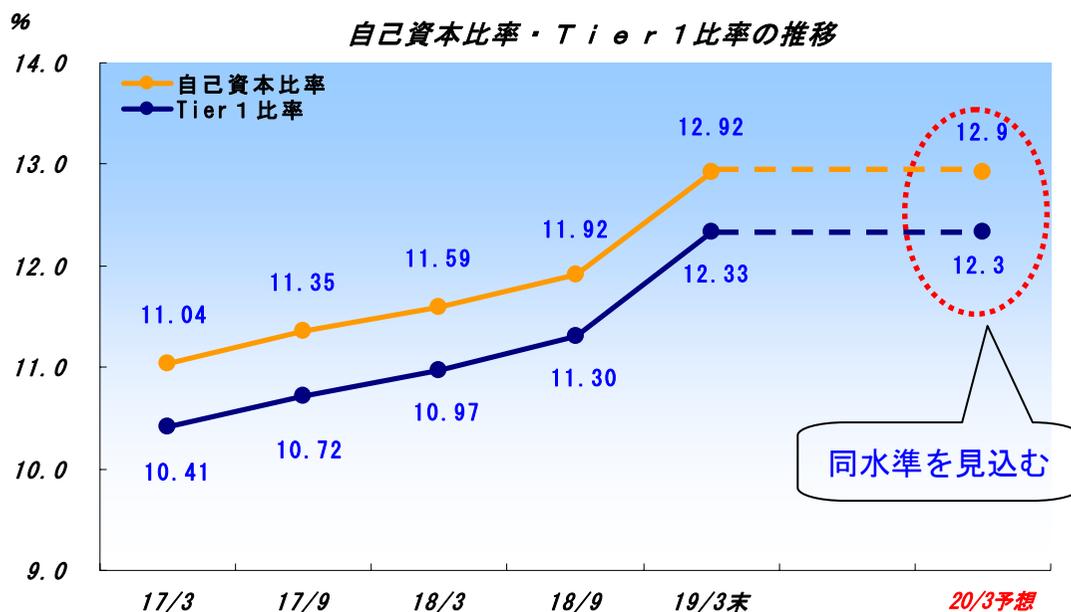
- RACAR (リスク・コスト調整後収益) による店別・顧客別収益管理の実施

■ 資産の収益性向上

- ◆ 不稼働資産の整理・圧縮促進
- ◆ 資産の有効活用

健全性の維持

■ 自己資本



- ◆ 平成19年3月末の自己資本比率は12.92%と健全性を維持
(国際統一基準では14.96%)
- ◆ 同Tier 1比率も12.33%と引続き高水準

- ◆ 税効果相当額のTier 1に対する割合
→ 16.0%
- ◆ 税効果除く自己資本比率
→ 10.9%

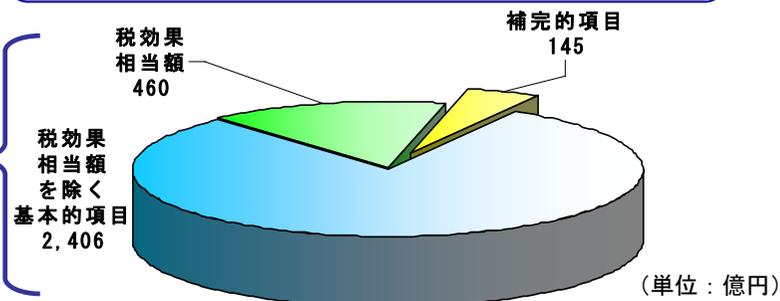
＜自己資本比率にかかるバーゼルⅡの影響＞

リスクアセットの減少効果が大きく自己資本比率は上昇

※参考

旧基準で試算した場合の自己資本比率(国内基準)
→ 11.7%程度

基本的項目
(Tier 1)
2,866億円



(注) 税効果資産は、その他有価証券の評価差額および繰延ヘッジ損益にかかる繰延税金負債との相殺前の繰延税金資産

損 益

(単位：億円)

	18年度 (実績)		19年度 (予想)	
		前年度比 増減額		前年度比 増減額
業 務 粗 利 益	863	27	899	36
資金利益	779	27	783	4
役務取引等利益	114	6	120	6
国債等債券損益	▲ 10	▲ 7	▲ 1	9
外国為替売買損益	▲ 24	▲ 1	▲ 7	17
経 費	578	5	600	22
一般貸倒引当金繰入前業務純益	285	22	299	14
[コア業務純益]	[295]	[29]	[300]	[5]
一般貸倒引当金繰入額	23	45	18	▲ 5
業 務 純 益	262	▲ 23	281	19
臨 時 損 益	▲ 80	45	▲ 91	▲ 11
株式等関係損益	15	14	4	▲ 11
不良債権処理損失	102	▲ 28	75	▲ 27
経 常 利 益	182	22	190	8
当 期 純 利 益	102	10	110	8
与 信 費 用	125	17	93	▲ 32

主要勘定・利回・利鞘

(単位：億円、%)

		18年度 (実績)	前年度比	19年度 (予想)	前年度比
主要勘定 (平残)	貸出金	30,441	▲ 1.0	30,640	0.7
	コア貸出金	30,366	1.0	30,640	0.9
	有価証券	19,441	3.4	19,922	2.5
	預金＋譲渡性預金	48,972	▲ 0.3	49,140	0.3
利回・利鞘	貸出金利回	1.86	0.12	2.07	0.21
	コア貸出金利回	1.87	0.09	2.07	0.20
	有価証券利回	1.51	0.20	1.59	0.08
	預金等利回	0.10	0.08	0.27	0.17
	資金スプレッド	1.50	0.03	1.49	▲ 0.01
	総資金利鞘	0.33	0.02	0.28	▲ 0.05
参考	預り資産残高(末残)	5,104	39.1	6,600	29.3

(注) 前年度比は、主要勘定、預り資産が増減率、利回・利鞘がポイント差

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社七十七銀行 総合企画部

TEL 022-267-1111

企 画 課 (内線 3010・3011)

主 計 課 (内線 3050・3054)

広報・関連事業課 (内線 3020・3021)

インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www.77bank.co.jp/>

七十七銀行